

補助事業番号 27-1-065
 補助事業名 平成27年度 健康や命を守る医療の活動 補助事業
 補助事業者名 公益財団法人日本精神衛生会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神保健思想の啓発普及に資するため、広報誌「心と社会」の発行、フォーラムを開催し精神保健に対する関心と理解を高め、もって精神障害者の医療及び福祉の改善と国民のこころの健康の保持向上に寄与する。

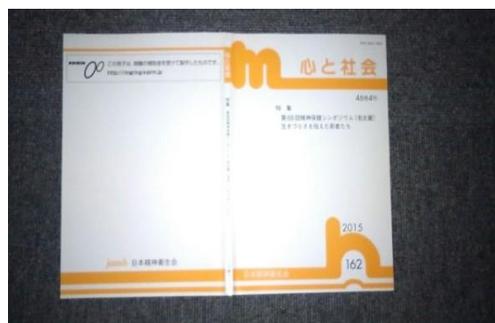
(2) 実施内容

① 広報誌の発行 (<http://www.jamh.gr.jp/pdf/kokorotoshakai161.pdf>)

精神保健に関する重要課題の現状分析と提言を内容とした広報誌「心と社会」161号と162号を各600部追加で発行し全国の精神科クリニックや精神保健福祉関連団体などに無料で配布した。



161号 表紙・目次



162号 表紙・目次



②精神保健フォーラムの開催 (<http://www.jamh.gr.jp/gyouji.html#mental>)

平成28年3月5日に東京有楽町の朝日ホールで、フォーラム「精神疾患を持つ人の健康と寿命～生き生きと暮らし続けるために～」を参加費無料で開催した。当事者とその家族、精神保健医療従事者、福祉関係者など435名が参加した。



シンポジウム



特別講演

2 予想される事業実施効果

①広報誌の発行

精神保健医療・福祉に関する幅広い情報を、全国の精神保健関係者や一般市民に広報することで、当事者を含めた国民のこころの健康の保持・改善や精神保健福祉制度の充実などが促進されることが期待できる。161号の特集は熊本で開催したシンポジウム「子どもの発達と情報社会」、162号の特集は名古屋で開催したシンポジウム「生きづらさを抱えた若者たち」で、どちらも現在社会が抱える児童・青少年問題を取り上げた。社会に適応し辛い子どもたちの心理や親の対応、また急速に発達するICTを利用することで障害を克服できるという考え方は、障害児やその親に勇気と希望をもたらすことが予想される。

②精神保健フォーラム

海外の研究では精神疾患を持つ人の寿命が健常者と比べて15～20年短いという報告が有るが、わが国ではこうした調査は未だ行われていない。精神障害者が、身体的な健康の維持向上を図り、生き生きと暮らし続けることができるよう精神医療関係者はどう対応するのか？これまで見過ごされていたテーマを取り上げたことは、わが国の精神医療関係者がこの問題を研究する端緒となり、精神障害者やその家族の新たな意識や生活の改善につながっていくことが期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 広報誌の発行 (<http://www.jamh.gr.jp/pdf/kokorotoshakai161.pdf>)

「心と社会」161号 A5判 124頁 600部

「心と社会」162号 A5判 124頁 600部

② 精神保健フォーラムの開催 (<http://www.jamh.gr.jp/gyouji.html#mental>)

リーフレット A4判両面2色印刷3つ折り 10,000部

ポスター B3判カラー 300枚

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本精神衛生会（ニホンセイシンエイセイカイ）

住 所： 〒162 - 0851

東京都新宿弁天町91番地

代 表 者： 理事長 牛島定信（ウシジマサダノブ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 事務局長 伊藤龍彦（イトウタツヒコ）

電 話 番 号： 03-3269-6932

F A X： 03-3269-6932

E - m a i l： z-seisin@dc4.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.jamh.gr.jp>